

各記事に掲載しているIDを市ホームページの「広報ページID検索」に入力すると、該当のページが出ます。これにより、記事を探す手間を省けます

## 3 歳のお子さんに絵本をプレゼント

# セカンドブックを 始めます

「セカンドブック」は、出生時に最初の絵本を手渡す「ブックスタート」のフォローアップ事業として、絵本への興味が深まり生涯にわたる読書体験の基礎を形成する大切な時期の子どもに対して、2冊目の絵本をプレゼントすることで、読書への関心を高めていただくことを目指しています。

今回は、新たに開始するセカンドブック事業と図書館で行っている子どもと本を結ぶさまざまなサービスについてご紹介します。

問 中央図書館 ☎352・4646



## I C T 技術を使った排水対策



全国各地で大雨による被害が出ています。千葉県でも大きな被害が出ており、千葉県からの要請に基づき被災地の復旧活動に職員の派遣を行っています。

災害時にこそ自治体間の連携が大切であり、



マンホールアンテナ

冠水センサー

浦安市としても引き続き支援を行ってまいります。

浦安の歴史は、水害との戦いの歴史である、と言われており、これまでもさまざまな対策を進めており、近年では、I C T 技術を活用し市内の浸水への備えを行っています。

台風などで気圧が下がると、海面が上昇する高潮が発生し、雨水管から河川への排水ができなくなる、さらには河川からの水が逆流し、道路冠水が発生します。これがいわゆる内水氾濫です。

逆流を防ぎながら河川に排水するためには、河川に接続する雨水管の吐口ゲートの開閉操作を的確に行う必要があり、その判断のために、12カ所のマンホールに「マンホールアンテナ」と呼ばれる水位計を設置し、水位監視を行っています。水位のデータは市役所に送られ、

執務室のモニターやパソコン、スマートフォンからも閲覧できます。

こうした監視体制の下、マンホール内の水位と河川の水位を比べながらゲートの開閉操作を行い、内水氾濫を防いでいます。

このほか、市内の道路冠水が発生しやすい場所にも、縁石などに冠水を監視するセンサーを設置しており、冠水などの異常を察知した際には職員がより迅速に対応できる体制となっています。

雨水排水対策として、貯留管の整備、公共用地のオンサイト貯留、排水機場の更新などハード面の整備も引き続き進めてまいりますが、合わせて新しい技術を使った対策も進めています。

浦安市長 内田 悦嗣

# 浦安市セカンドブック事業

市では、赤ちゃんに絵本をプレゼントする「ブックスタート」に続き、3歳のお子さんに絵本をプレゼントする「セカンドブック」を開始します。

幼いときから本に親しむことは、ことばや想像力を育てるとともに、生涯にわたる読書習慣の基礎にもなります。

プレゼントする絵本は、大人が読んであげましょう。子どもは身近な人から絵本を読んでもらうことが大好きです。身近な人が語りかける声は、子どもに「一緒にいてくれる」という安心感を与え、子どもは本の世界を心ゆくまで楽しむことができます。

対象 令和8年4月1日以降に3歳を迎えた市内在住の子ども

引換券の配布 「3歳児健康診査」の案内に、「セカンドブック引換券」を同封します ID 1049371

## 絵本との引き換え

図書館開館日の午前10時～

午後5時

※10月14日(水)から引き換え開始  
※引き換え期限は小学校入学前まで

中央図書館または分館カウンター

※引換券をお持ちください



11匹のねこ  
(馬場のぼる／著 こぐま社)

## プレゼントする絵本

この5冊のうちから  
1冊をお選びいただけます

※プレゼントする絵本は変更になる場合があります



なぞなぞのみせ  
(石津ちひろ／なぞなぞ  
なかざわくみこ／え 偕成社)



からすのパンやさん  
(かこさとし／作・絵 偕成社)



ぐるんぱのようちえん  
(西内ミナミ／さく  
堀内誠一／え 福音館書店)



みんなうんち  
(五味太郎／さく 福音館書店)

## 図書館司書から アドバイス

この時期の  
読み聞かせの  
コツ

●子どもに読んであげるときは、技巧をこらさず、ごく普通に読みましょう

●子どもが絵を十分に见られるように、ゆっくりと読みましょう

●子どもが望めば何度でも、また、字が読めるようになっても読んであげてください

●大人も一緒に楽しみましょう



## 親子でご利用ください 本と子どもを結ぶ 図書館サービス

セカンドブックをきっかけに、絵本の楽しさを知ってもらえたら、ぜひ図書館をご利用ください。図書館には絵本や図鑑など、たくさん本があります。図書館でいろいろな絵本に出会って、お気に入りの本を探してみてください。

## いろいろな絵本があります

図書館では、物語絵本のほか、のりもの絵本、ことばあそび絵本、ちしきの絵本、昔話絵本など、種類別に分けて置いています。お子さんの興味に合わせて本を選んでください。どんな本を読んであげたらよいか迷ったら、児童カウンターの職員に聞いてください。



## 子ども向けの行事があります

「えほんのじかん」「おはなし会」など、お子さんが参加できる行事があります。



えほんのじかん  
(中央図書館・分館)

絵本の読み聞かせなどを行います。2歳以上のお子さんと保護者が参加できます

おはなし会  
(中央図書館)

昔話や創作のお話を語ります。5歳以上のお子さんが参加できます

## 読書通帳で記録ができます

本をたくさん読んだら、読書通帳に記録しましょう。

読書通帳は、図書館で借りた本の図書名などを記録できる銀行の通帳型ノートです。中央図書館・各分館にある「読書通帳機」で印字できますので、読書の記録にお役立てください。

市内在住の中学生以下の方には、無償で配布しています。読書の記録を目に見える形で残せますので、ご利用ください。

※新浦安駅前プラザマール図書館サービスコーナー、浦安・舞浜駅前行政サービスセンターには読書通帳機はありません



## ゆっくり過ごすことができます

児童コーナーにはテーブルと椅子があり、ゆっくり座ってお子さんに絵本を読んであげることができます。



中央図書館にはカフェスペースがあり、飲み物、軽食を販売しています。カフェスペースは飲食や休憩、図書館資料の閲覧などができるスペースで、図書館利用の合間にどなたでも利用できます。

時 午前10時～午後6時

所 中央図書館 ID 1033366

## 講座に参加しませんか

中央図書館では年に1回「親子で楽しむ絵本講座」を開催しています。

2～3歳のお子さんとその保護者が対象で、親子でわらべうたや読み聞かせを楽しんだあと、保護者は別室で講義を受講します(お子さんは保育)。

絵本の選び方や、読み聞かせの仕方などについて講義をしますので、ぜひご参加ください。



親子で楽しむ絵本講座

ID 1048941

時 10月24日(土)・11月7日(土)午前10時～11時30分(全2回)

申込 電話で、中央図書館 ☎352・4646へ、またははば電子申請サービス  
https://apply.e-tumo.jp/city-urayasu-chiba-u/ から申し込み

## 図書館の催し

えほんのじかん ID 1048980

時 毎週火～土曜日(10月30日(金)を除く)＝中央図書館、毎週木曜日＝各分館  
※時間はいずれも午後3時30分～4時

対象 2歳以上のお子とその保護者

内容 親子で絵本を楽しむ

赤ちゃんといっしょに えほんのじかん ID 1048981

時 10月16日(金)午前11時～11時20分  
所 中央図書館

対象 6カ月～2歳児とその保護者

内容 わらべうたや絵本の読み聞かせ

※申込不要、直接会場へ

問 中央図書館 ☎352・4646